



都市大サッカーとバレー

全国大会での活躍誓う

全国大会への
意気込みを語
る選手たち

東京都立大学塩尻高校(塩尻市広丘高出、770人)は10日、年末始に行われる全国大会に出場するサッカー部と女子バレーボール部の優勝報告・顕彰会を同校で開いた。11月の県予選で共に連覇を果たした選手たちの活躍を全校生徒や教職員らがたたえ、全国での活躍を願った。

サッカー部は第94回全国高校サッカー選手権大会に2年連続4回目、バレー部は、第68回全日本バレーボール高校選手権(春高バレー)に5年連続5回目の出場となる。両部の選手たちは、吹奏楽部の演奏と拍手で会場に迎えられ、壇上で赤羽利文校長や生徒会長の熊ざららさん(17)の激励を受けた。サッカー部は、第68回全日本バレーボール高校選手権(春高バレー)に5年連続5回目の出場となる。両部の選手たちは、吹奏楽部の演奏と拍手で会場に迎えられ、壇上で赤羽利文校長や生徒会長の熊ざららさん(17)の激励を受けた。サッカー部は、第68回全日本バレーボール高校選手権(春高バレー)に5年連続5回目の出場となる。両部の選手たちは、吹奏楽部の演奏と拍手で会場に迎えられ、壇上で赤羽利文校長や生徒会長の熊ざららさん(17)の激励を受けた。

島友輝主将「3年間は(全国で)初戦敗退した昨年の悔しさをばねに挑みたい」と抱負を語り、バレー部の加藤菜々子主将「同じくは全員の心を一つに、日本一を目指したい」と力を込めていた。

サッカー部の高橋裕之監督、バレー部の岡田隆安監督も登壇し、県予選決勝で応援に駆け付けた生徒たちの声援が、勝利を後押ししたことに感謝していた。(庄 隆子)

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。
無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。